

1.2.8 棚卸に関する入力

棚卸には、「毎月棚卸をする」方法と「決算期に棚卸をする」方法の2通りがあります。

- 毎月棚卸をする

(例) 期首の棚卸商品が 50 万円あり、1 カ月目の月末棚卸商品が 40 万円、
2 カ月目の月末棚卸商品が 55 万円だった

■ 1 カ月目 (期首月)

前期繰越商品を、借方「8100 期首商品」に振り替えます。

月末の商品棚卸高を、貸方「8190 期末棚卸」に振り替えます。

伝番	部	日	借方	貸方	金額	摘要	課税科目
1	0	1	8100 期首商品	1210 商品	500,000	期首棚卸商品	0 0
1	0	30	1210 商品	8190 期末棚卸	400,000	月末棚卸商品	0 0

■ 2 カ月目以降

「8190 期末棚卸」の科目を使用して仕訳を登録します。

伝番	部	日	借方	貸方	金額	摘要	課税科目
1	0	30	8190 期末棚卸	1210 商品	400,000	月末棚卸商品	0 0
1	0	30	1210 商品	8190 期末棚卸	550,000	月末棚卸商品	0 0

- 決算期に棚卸をする

(例) 期首に商品が 100 万円あり、決算期末の棚卸商品が 120 万円だった

■ 決算整理月 (13 月)

前期繰越商品を、借方「8100 期首商品」に振り替えます。

当期末の商品棚卸高を、貸方「8190 期末棚卸」に振り替えます。

仕訳データ入力 [フリーウェイ商事株式会社] 24.3決算(決算整理月分入力)								
F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9
メニュー	追加	訂正	削除・復帰	検索・置換	帳表			全
仕訳データ表示(Q)								
	伝番	部	日	借方	貸方	金額	摘要	課税
2	0	0	1	8100 期首商品	1210 商品	1,000,000	期首商品	0 0
3	0	0	31	1210 商品	8190 期末棚卸	1,200,000	期末棚卸	0 0

補足 課税区分について

棚卸入力時の課税区分は、「0=課税対象外仕訳」を指定します。

0 以外の課税区分を使用すると、消費税計算が正しく行われません。

諸口差引金額: 0									
番号	伝番	部門	工番	月	日	借方コード	貸方コード	金額(電卓Insert)	
4	1	0			30	1210 商品	8190 期末棚卸	550,000	
						(F14:補助729登録)	(F14:補助729登録)		
摘要								課税	税区
月末棚卸商品								0	0
								科目	手形期日

(ビリオドL)・数字キー: 摘要項目引用 F1キー: 摘要簿書ウィック登録